

1 令和6年度の成果と課題

(1) 成果

- ・ALT と会話する時間を多く取り入れたことで、自らコミュニケーションをとろうとする姿が増えた。
- ・イングリッシュカフェで ALT とコミュニケーションをとったり、英語の掲示物を充実させたりして、英語に触れる機会を増やしたことで、積極性や語彙力が向上する児童が増えた。
- ・低学年からクロームブックやアルファベット表を活用したことで、アルファベットの定着につながった。
- ・「基礎」、「活用」のどちらも目標値を上回り、「聞くこと」、「読むこと」、「書くこと」のどの領域でも目標値を上回った。

(2) 課題

- ・英作文の時間を確保し、授業に取り入れたが英単語の定着が不十分であり、消極的な姿が見られた。
- ・アルファベットの習得はクロームブックの活用により低学年でも定着しつつあるが、小文字などの活用する機会が少ないものに関して定着が不十分だった。

2 調査結果に基づいた授業改善のポイント及び改善策

1 授業でアルファベットに触れる機会を設定し、文字を書いたり、使ったりできるようにする。

低: アルファベット表を活用しながら簡単なワークを行い、アルファベットの定着を図る。

中: アルファベットの習得を目指し、国語のローマ字学習と教科横断的に行えるようにする。

高: 児童の書く力を身に付けるため、書く活動を積極的に設け、アルファベットの確実な習得や単語に慣れ親しむ活動を取り入れていく。

2 発音練習や英語でのコミュニケーションを繰り返し、楽しみながら英語を使えるようにする。

低: 英語でコミュニケーションを積極的にとりたくなる会話活動やゲームなどを工夫していく。

中: コミュニケーションをとる目的や場面、状況などに応じて英語で身近で簡単な事柄について聞いたり、話したりする活動を取り入れる。

高: ①ALTの発音を何度もリピートさせて、ネイティブな発音に慣れさせる。

②児童が外国語活動に対する苦手意識を無くすために、掲示物等で外国語に触れる場面を増やしたり、英語カフェを利用したりして、児童が気軽に英語で話せる場や機会を推進したりする。

3 活動内容や教材などを精選し、英語の定着を図る。

低: 「あいさつ」「数」「色」など日常会話を繰り返し行い、英語の発音や聞き取りに慣れさせる。

中: ALTと2人でコミュニケーションをとる時間を設定したり、必要に応じて担任が日本語で補佐したりする。

高: 児童が外国語活動に対する苦手意識を無くすために、掲示物等で外国語に触れる場面を増やしたり、英語カフェを利用したりして、児童が気軽に英語で話せる場や機会を推進する。